巻頭特集

同じ世界を共有

絵本でつながる親子の時間

教えてくれたのは



おおさわじゅんこさん

自宅に1000冊超の絵本を保有する絵本講師。双子のママで「絵本のある子育て」を実践。「絵本日和」主宰。



豊かな感性を育み、親子の絆をぐっと深めてくれる絵本の読み聞かせ。子どもに良い影響があると分かっていても、「読んであげる時間がない」というママも多いのでは。そこで絵本講師のじゅんこさんに「つらくない」読み聞かせのコツを聞き、オリジナルの絵本づくりに挑戦。お互いのぬくもりを感じながら、絵本を介した親子の時間を楽しもう。

参加したのは



冨岡楓ちゃん（3歳）と幹子ママ
村田乗馬くん（6歳）と麻衣子ママ

仲良し姉妹であるママたちのもと兄妹のように育った乗馬くんと楓ちゃんが絵本づくりに挑戦！

撮影／スタジオ華写

読み聞かせ講座



ひざのうえで体温を感じながら





ごろんと寝転んでリラックス

読み聞かせの疑問

教えて！じゅんこさん



Q 「もう1回」と何度もせがまれ、辛く感じます。

A 「もう一回」が繰り返されると大変ですが、それは子どもにとって楽しい時間の証でもあります。実は、生まれてから9歳まで毎日5分読み聞かせをしても、トータルするとたった11日にしかなりません。子どもの成長はあっという間。気長に読み聞かせの時間を楽しんでくださいね。

Q 自分で字を読めるようになったら、読み聞かせは必要ない？

A 「字を読める」ことと「本を読める」ことは違います。特に字を覚えて間もない頃は字を追うだけで一生懸命になり、話の内容を想像できないことも。信頼している大人に読んでもらうことで、子どもはイメージを膨らませることができるのです。



Q ちゃんと読んであげたいのに、途中でページをめくってしまいます。

A 無理に読み切る必要はありません。ページをめくる感覚を楽しんでいるのでしょう。お気に入りのページを見たいだけかもしれません。子どもの反応や興味に合わせて、親子のコミュニケーションを楽しみましょう。



気軽にふれ合いの時間を楽しむ

「毎日絵本を読んであげたいけれど、ゆっくり時間がとれなくて」。そんな悩みを抱える幹子ママと麻衣子ママに、「毎日じゃなくても、短い時間でも大丈夫。心に余裕があるときに、ママも楽しみながら読んであげられるといいですね」と優しく微笑むじゅんこさん。

読み聞かせに特別なルールやテクニックは必要ないが、気をつけたいのは「教育効果のための読み聞かせ」にならないこと。その気持ちが先立つと、親にとっても子どもにとっても負担になってしまう。「純粋に親子のふれ合いを楽しんで」とじゅんこさん。

読み聞かせの一番の魅力は、「子どもと同じ世界を共有できる」こと。絵本の世界観や読むことで生まれた感情、ふれ合うぬくもりなど。親子でさまざまな感情を共有することこそが醍醐味なのだ。「もっとシンプルに楽しめばいいんですね」、ママたちも安心した様子。

世界にひとつだけの絵本をつくろう

続いてオリジナルの絵本づくり、「しりとり絵本」に挑戦。クレヨン、スタンプ、折り紙など、いろいろな画材を準備。カードにひとつずつ絵を描き、しりとりをつないでいく。楓ちゃんは「か」、爽馬くんは「ま」からしりとりスタート！

少し考えて「カエル！」とひらめいた楓ちゃん。クレヨンでカエルを描き、指にインクをつけてペタペタ。「雨が降ってるんだよ」と指スタンプで雨粒を表現。幹子ママは「いいアイデアだね」とにっこり。

ひらがなを覚えた爽馬くんは、「まんとひひ→ひこうき→きつね→ねこ」と自分で文字を書き、しりとりを完成。「まんとひひってどんな顔だっけ？」。麻衣子ママとあれこれ相談しながら絵を描いていく。カードに穴を開け、紐で閉じたらできあがり！早速、絵本を開きページをめくるママと子どもたち。世界にひとつだけの絵本は、親子の絵本時間をより充実したものにしてくれそうだ。









冊子風や、じゃばら式、巻き物式など、絵本のつくり方はさまざま。自由な発想でつくってみよう。











たかさき絵本フェスティバル
第28回絵本原画展
『チョコレートをあげるならアントン！』



毎年、良質な絵本との出会いを提供してくれる「たかさき絵本フェスティバル」。第28回を数える今回は「生命力」をテーマにした絵本の迫力ある原画を展示。加えて、幼年童話『エルマーのぼうけん』、児童文学『長くつ下のピッピ』、『点子ちゃんとアントン』など、長きにわたって読み継がれてきた作品を紹介する。絵本から読み物へ、読み聞かせをステップアップさせたいと考えている親子にぴったりの企画展だ。

【日時】1月22日（土）～2月1日（火）　10:00～18:00（入場は17:30まで）
【会場】高崎シティギャラリー（高崎市高松町35-1）　第1展示室・予備室
【料金】大人1,000円（前売り800円）／子ども500円（4歳以上18歳未満、前売り400円）
＊前売り券は本の家（高崎市）、本の家2（前橋市）、高崎シティギャラリー、群馬音楽センター、高崎市文化会館、まちなか絵本ぼっくす設置店で購入可能
【問い合わせ】NPO法人　時をつむぐ会　TEL.027-352-4613

世界各国の絵本に触れよう
「2021イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

世界60カ国、16,000冊以上の絵本・児童書がそろう太田市美術館・図書館で、「2021イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」を開催中。児童書専門の見本市「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア」が主催する絵本原画コンクールの入選作品を展示している。これまで数多くの絵本作家を生み出してきたコンクールで、2021年は23の国と地域の76作家が入選。世界各国から集まった、個性溢れる作品を楽しめる。会期中は図書館企画コーナーにて、過去の入選作家の絵本や関連図書等を展示している。

【日時】～1月23日（日）　10:00～18:00
（展示室への入場は17:30まで）
【会場】太田市美術館・図書館
（太田市東本町16-30）
展示室1、2、スロープ他
【休館日】月曜＊1月11日（火）は休館
【観覧料】一般500円、高校生以下無料
＊1月16日は中学生以下の子ども同伴で無料
【問い合わせ】
太田市美術館・図書館
TEL.0276-55-3036


エレーナ・ブーライ（ロシア）「おもちゃ屋さんとおもちゃたち」

SPECIAL
まま・ここっと オリジナル 絵本通帳



親子の思い出を記録しよう

読んだ絵本のタイトル等を記録できる「絵本通帳」。これだけの本を読んだという達成感が得られると共に、親子の思い出や子どもの成長を振り返ることができる一冊だ。まま・ここっとオリジナルの絵本通帳はこちらからダウンロードできるよ！
https://chuco.net/craft/

絵本 TOPIC

寒い冬にぴったりの、絵本に関するイベントや話題を紹介。心も体もぽっかぽか♪


好きな画材を使って絵本をつくろう

『まま・ここっと』読者限定！
「親子でつくる しりとり絵本」ワークショップ開催

前ページで冨岡さん、村田さん親子がつくった「しりとり絵本」にチャレンジ。親子で協力してオリジナリティ溢れる一冊に仕上げよう。絵本講師・おおさわじゅんこさんに、絵本の楽しみ方や読み聞かせのコツも教えてもらえるよ！



【日時】2月6日（日）　午前の部　10:00～11:30、
午後の部　13:00～14:30
【定員】各回　親子4組（先着順）
【会場】ままここっと編集室　セミナールーム
（株式会社中広／高崎市新保町139-1/駐車場有）
【料金】親子1組2,000円（絵本材料費込み）
【申し込み・問い合わせ】
じゅんこさんまでメール（ehonbiyori@outlook.com）で申し込み。件名「まま・ここっと絵本づくり」と書き、参加親子の氏名、子どもの年齢、電話番号、メールアドレスを記載する。
申し込みはこちら

前橋に絵本専門店
「本の家2」がオープン

2021年11月、前橋の中心街に絵本専門店「本の家2」がオープン。木のぬくもり溢れる店内には、約1,500冊の絵本がずらり。幼い子どもでも手に取りやすいよう低い位置に陳列されており、じっくりとお気に入りの一冊を選ぶことができる。「親子で楽しい時間を過ごしてほしい」と店主の石川知恵子さん。自由に遊べるままごとキッチンに加え、オムツ替えや授乳スペースも完備されているので、赤ちゃん連れでも安心だ。手づくり絵本やカレンダーづくり等のワークショップも開催予定。

赤い扉が目印！





【住所】前橋市千代田町2-7-25
【電話番号】TEL.027-212-7273
【営業時間】11:00～17:00
【定休日】日曜、月曜、祝日
https://www.honnoie2-maebashi.com


子どもの目線に絵本が並ぶ